

令和4年度事業報告書

〔 令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月 31日まで 〕

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの当財団の令和4年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の回避に努めながら、以下のとおり各事業を実施いたしました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、多くの方々に地下鉄に関する知識を得ていただき、理解を深めていただくことを目指し、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

特別展やイベントを開催しながら一年間運営した結果、入館者数については前年度より46千人（56.4%）増加した127千人となりました。

(1) 特別展の開催

ア「有楽町線車両のあゆみと収蔵品展～7000系車両を中心として～」

(令和4年6月7日から9月4日まで)

有楽町線は丸ノ内線の池袋から都心部への混雑緩和及び池袋から西側の地域を結ぶ役割を担い、さらに皇居周辺の発展に対応することを目的として建設されました。

1974（昭和49）年10月の最初の開業時より使用されてきた7000系車両は、相互直通運転を行っている西武線及び東武線と車両規格仕様の統一を図ったほか、のちに副都心線に対応できる仕様への改造を実施するなど進化していきました。

その後、1993（平成5）年には現在東西線で活躍している07系が投入され、2006（平成18）年には副都心線と共用の10000系が登場。さらに2021（令和3）年には、新型車両17000系が登場し、永らく活躍した7000系車両は、2022（令和4）年4月、全て17000系車両に置き換えられました。

本特別展では、引退した7000系車両を中心に有楽町線車両のこれまでのあゆみに着目し、7000系車両から17000系車両に至る車両の特徴の変化などの経緯について、車両部品の実物展示、写真やパネル等により紹介しました。

イ「ちかてつ！？ふしぎ展～銀座線・地下鉄の原点からたどる謎・不思議～」

（令和4年12月6日から令和5年3月12日まで）

地下鉄博物館で過去に実施した特別展でのお客様アンケートには、駅や車両、そこで働く人々、歴史など多岐にわたり、地下鉄にまつわる様々な疑問が寄せられました。

普段知る機会の少ない地下鉄に関する理解をより一層深めていただくためにも、こうしたお客様から寄せられた多くの疑問に対する答えをいくつかでも紹介していくことは、非常に有意義なことと考えます。

本特別展では、東京地下鉄道株式会社、東京高速鉄道株式会社、帝都高速度交通営団（営団地下鉄）を経て現在の東京地下鉄株式会社（東京メトロ）に至る、という長い歴史を持つ銀座線にまつわる様々な“謎・不思議”について、関連する実物資料展示、パネル等により紹介しました。

また開催期間中に関連イベントとして、鉄道写真家として活躍されている諸川久氏の講演会を実施し、「地下鉄銀座線と都電が走った時代」をテーマに、氏が撮影した写真をもとにお話をさせていただきました。

（2）イベントの実施

節目の期間を捉え、各種季節イベントを実施しました。

特に夏休み期間には「車掌さんの帽子をつくろう!」、また冬休み期間には「ぬりペタ moku TRAIN」と題し、それぞれ500円、1500円の参加費をいただいて工作を体験していただくイベントをホールにて実施し、お子様を中心に多くのお客様に楽しんでいただきました。

また、3月に「日本代表 安選手に学ぼう 車いすフェンシングと地下鉄のバリアフリー」と題し、東京メトロと初の共催となるイベントをホールにて実施しました。

車いすフェンシング日本代表の安直樹選手を相手に、柔軟性のあるスポンジ状の剣と導電性のあるジャケットを使用して安全に行えるスマートフェンシングにより、多くのお客様に車いすフェンシングを疑似体験していただくとともに、東京メトロのバリアフリーの取り組みについて紹介しました。

(3) 教育実習活動の実施

4名の大学生を対象に9月8日より1週間、学芸員資格取得のための博物館実習を午前中は自宅での学習、午後からは博物館での実務学習、の形式にて行いました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保管及び貸し出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存しました。

また、データベース化した貴重な資料を「メトロアーカイブアルバム」で公開し、それによりテレビ局、新聞社、雑誌社等メディアからの問い合わせを受け、資料を貸し出しました。

(5) 展示物及び施設の更新、改良等

ファイルサーバの更新工事とフリーWi-Fi導入工事を行いました。

(6) その他の取り組み

状況に応じた適切な運営・お客様対応を行っていただけるよう、「東武博物館」、「電車とバスの博物館（東急）」、「ロマンスカーミュージアム（小田急）」及び「京王れーるランド」の同業4館と、管理監督者を中心とした連絡会及び係員を中心としたワーキングを年間2回ずつ実施し、感染拡大防止対策の状況等各館の近況について情報交換を行いました。

PR活動やお客様の誘致活動については引き続き積極的には行えなかったものの、ホームページ、ツイッター、駅構内掲出のポスター、携帯サイト等の各種媒体を使用し、特別展・イベントの開催告知や館内施設稼働状況の告知等を行いました。

2 交通文化事業

集客を伴ういくつかの事業については引き続き感染症拡大防止を考慮した内容となりましたが、概ね例年どおり以下の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

音楽文化の普及を図るため毎年度開催している同コンサートについては、オンライン（非対面）とリアル（対面）の相乗効果が得られるよう、無観客状況下における演奏を収録した動画のオンライン上での配信、駅構内での公演、小ホールでの公演を連動させ、次のとおり各1回ずつ開催しました。

【オンライン配信】

配 信 日：令和4年9月29日から

タイトル：“home theater”～カルテットで奏でるハーモニー～

演奏内容：ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、オーボエの四重奏

出 演：『森の四重奏団』

【駅構内での公演】（ステーションコンサート）

開 催 日：令和4年10月15日

場 所：東京メトロ副都心線渋谷駅構内

演奏内容：サクソフォン五重奏

出 演：『Five by Five』

来 場 者：317人（第1部157人・第2部160人）

【ホールでの公演】（約300人のお客様をご招待）

開 催 日：令和5年2月4日

場 所：日暮里サニーホール

演奏内容：ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、オーボエの四重奏

出 演：『森の四重奏団』

来 場 者：210人（応募者4,173人）

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽にクラシック音楽に触れていただくため、プロのオーケストラによる本格的なコンサートに約1,500人のお客様をご招待し、次のとおり開催しました。

・第17回メトロポリス・クラシックスコンサート

募集期間：令和4年7月1日から8月15日まで

開催日：令和4年10月10日

場所：東京芸術劇場

テーマ：「心躍る優雅なる旋律 ～音楽の都、ウィーンから～」

出演：東京都交響楽団ほか

来場者：1,492人（応募者20,175人）

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、都内及び近郊の福祉施設、病院、学校等において行っている「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を、例年より回数を減らし、次のとおり5か所で開催しました。

またこれらの開催と併行して、無観客状況下での演奏を収録したDVDを23か所の施設に配付し、本コンサートのPRを行いました。

回数	開催日	施設名及び出演者	来場者
119	R4.7.4	社会福祉法人恩賜財団慶福育児会 特別養護老人ホーム 麻布慶福苑 (港区) 出演者：ララ・カンツォーネ	61人
120	R4.10.11 新規施設	新宿区立新宿養護学校 (新宿区) 出演者：東京都交響楽団ほか	51人
121	R4.11.27	社会福祉法人あそか会 特別養護老人ホーム 塩浜ホーム (江東区) 出演者：アンサンブル・ディヴェルターズ	52人
122	R5.1.13	社会福祉法人聖風会 特別養護老人ホーム ゆうあいの郷 扇 (足立区) 出演者：ララ・カンツォーネ	42人
123	R5.3.27 新規施設	台東区立ケアハウス松が谷 (台東区) 出演者：ララ・カンツォーネ	40人

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集し、その中から優秀作品等を選び展示する「メトロ文化展」を、次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部

地下鉄に関する知識や興味を持っていただけるように、小学生を対象に安全やマナー等に関する絵画作品を募集した結果、6,064点の応募がありました。

応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び、次のとおり発表しました。

また、今回は第40回目の開催を記念し、前記優秀作品の中から3点の作品を「東京メトロ特別賞」として選びました。

・第40回メトロ児童絵画展（募集期間：令和4年8月1日から9月9日まで）

一次展示：優秀作品300点を三越前駅コンコースに展示

（令和4年10月13日から18日まで）

二次展示：奨励賞作品300点を三越前駅コンコースに展示

（令和4年10月20日から23日まで）

審査員：大石法枝氏（新象作家協会委員）

小野孝一氏（現代童画会常任委員）

川内 悟氏（公益社団法人二科会参与）

イ 写真の部

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、専門家による「メトロ写真教室」を、次のとおり2回開催しました。

また後日、当日撮影された写真を当財団ホームページにおいて発表しました。

・第50回メトロ写真教室（講義及び撮影）

開催日：令和4年5月14日

場所：お台場周辺

参加者：13人（応募者17人（定員20人））

講師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品発表：11点の作品を当財団ホームページに掲載
(令和4年7月15日から28日まで)

・第51回メトロ写真教室(講義及び撮影)

開催日：令和4年10月29日

場所：明治神宮外苑周辺

参加者：14人(応募者140人(定員20人))

講師：中谷吉隆氏(公益社団法人日本写真家協会名誉会員)

作品発表：9点の作品を当財団ホームページに掲載
(令和5年1月11日から24日まで)

ウ 文学の部

電車内で文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、“東京で感じるあなたの心”をテーマにした“詩”の募集を春と秋の2回行い、応募作品の中から優秀作品6編を選び、電車内で発表しました。

また同6作品に加え、別途選んだ入選作品20編を、当財団ホームページにおいて発表しました。

・第35回メトロ文学館(募集期間：令和4年4月1日から5月31日まで)

応募数：499編(372人)

審査員：白石公子氏(詩人、エッセイスト)

作品発表：優秀作品6編を電車内の中吊りポスターに掲出
(令和4年7月15日から12月31日まで)

優秀作品6編及び入選作品20編を当財団ホームページに掲載
(令和4年7月29日から8月15日まで)

・第36回メトロ文学館(募集期間：令和4年10月1日から11月30日まで)

応募数：287編(162人)

審査員：同上

作品発表：優秀作品6編を電車内の中吊りポスターに掲出
(令和5年1月15日から5月31日まで)

優秀作品6編及び入選作品20編を当財団ホームページに掲載
(令和5年2月3日から16日まで)

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域の伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を、当財団のホームページ及び「Echika 池袋ギャラリー」において、次のとおり紹介しました。

ア 品川区

- 「いきいき TOKYO 夢 SHINAGAWA-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介
- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和4年6月1日から29日まで）
 - ・財団ホームページへの掲載（令和4年6月1日から）

イ 大田区

- 「いきいき TOKYO 夢 OTA-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介
- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和5年2月1日から27日まで）
 - ・財団ホームページへの掲載（令和5年2月1日から）

(6) メトロ歴史教室の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、専門家による「メトロ歴史教室」を、次のとおり2回開催しました。

ア 第42回メトロ歴史教室（講義及び探訪）

- 開催日：令和4年11月5日
- 場所：神楽坂界限（毘沙門天、筑土八幡神社、赤城神社等）
- 参加者：20人（応募者130人（定員20人））
- 講師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第43回メトロ歴史教室（講義及び探訪）

- 開催日：令和4年11月12日
- 場所：同上
- 参加者：17人（応募者85人（定員20人））
- 講師：同上

(7) Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するために設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。

展示については地元の豊島区と分担して行い、当財団については、次のとおり展示しました。

展 示 期 間	展 示 内 容
R4.6.1～29	品川区の伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等
R4.7.30～8.30	江戸東京博物館企画 【テーマ：東京のあかり】 ○展示趣旨 明治から昭和初期にかけての「あかりのある風景」により、日本における近代的な照明の歴史を紹介する。 ○展示作品 版画、写真
R4.12.29 ～R5.1.30	江戸東京博物館企画 【テーマ：洋館から超高層ビルへ －高層建築の系譜－】 ○展示趣旨 明治の洋館から昭和の超高層ビルまで、東京に建てられた代表的な高層建築物を紹介する。 ○展示作品 写真、絵葉書、パンフレット
R5.2.1～27	大田区の伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」（6駅7作品）の維持管理を行いました。

また、日比谷線銀座駅コンコースに設置してある「メトロ銀座ギャラリー」において、次のとおり大学生の作品を中心に展示しました。

展 示 期 間	展 示 者	展 示 内 容
R4.3.8～4.22	文化学園大学	展示会名：「BUNKA×METRO」 ○展示内容 9名の作品を3か所のエリアに2期に分けて展示
R4.4.26～7.28	東京藝術大学	展示会名：「藝大 Art Journey」 ○展示内容 令和3年度「東京藝術大学 卒業・修了作品展」の中から選ばれた10名の作品を3か所のエリアに3期に分けて展示
R4.7.31～10.30	武蔵野美術大学	展示会名：「移動する視点、通路の彫刻」 ○展示内容 3名の作品を3か所のエリアに展示
R4.11.2～28	女子美術大学	展示会名：「JOSHIBI at METRO」 ○展示内容 4名の大学院生が制作した3点の作品を3か所のエリアに展示
R4.12.5 ～R5.4.15	(社) 日本美術家 連盟関係作家	展示会名：「METRO ART PASSAGE」 ○展示内容 9名の作品を3か所のエリアに3名ずつ3期に分けて展示

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、併せて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、以下の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月東京メトロの全駅及び全電車内に掲出しました。

4年度は、「やさしいマナーでいこう！」をスローガンとしたもので、お子様からご高齢の方、海外からお越しの方まで誰もが理解しやすく、分かりやすい表現を用い、

お互いを思いやる「やさしい気持ち」を持ちながら実践していただけることを願ったポスターとしました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取り組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を6万部増刷し、7月に地下鉄博物館及び東京メトロの主要駅において配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

感染症拡大防止のため、中止しました。

II 庶務

1 理事会

(1) 令和4年度第1回(令和4年6月3日開催)

ア 「令和3年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「定款の一部変更に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

(2) 令和4年度第2回(令和4年6月23日開催)

ア 「代表理事会長の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「業務執行理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「理事長、専務理事及び常務理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

オ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

カ 「役員報酬の減額に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

キ 「顧問の委嘱に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「定時評議員会の審議内容について」報告がありました。

(3) 令和4年度第3回(令和4年3月16日開催)

ア 「令和5年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 令和4年度定時評議員会(令和4年6月23日開催)

ア 「令和3年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原

案どおり可決されました。

イ 「定款の一部変更に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「評議員の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

オ 「監事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「理事会の審議内容について」報告がありました。

3 官庁事項

内閣府への届出等事項は、次のとおりであります。

- (1) 令和4年6月29日 ・令和3年度事業報告等提出
- (2) 令和4年6月30日 ・代表理事等更届出
・定款変更届出
- (3) 令和5年3月17日 ・令和5年度事業計画等提出

4 登 記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 令和4年6月24日

ア 重任登記

村松與章理事、大谷泰彦理事、内田喜恵理事、小野孝一理事、白石公子理事、
鈴木嵯峨子理事、中谷吉隆理事、吉田茂監事、鈴木信行監事

イ 就任登記

奥義光代表理事、野俣光孝理事、増田英子評議員

ウ 辞任登記

安富正文代表理事、平松英子理事、大野正道評議員

5 役 員

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	奥 義 光
理 事 長	村 松 與 章
専務理事	野 俣 光 孝
常務理事	小 林 秀 徳
常務理事	大 谷 泰 彦

理 事	内 田 喜 恵
理 事	小 野 孝 一
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嗟 峨 子
理 事	中 谷 吉 隆
監 事	吉 田 茂
監 事	鈴 木 信 行

(理事 10人、監事 2人)

6 評議員

今期末における評議員は、次のとおりであります。

大井康弘、實方 健、鈴木章生、辻 恵子、野口 実、花上嘉成、
平野直樹、増田英子、山田 徹、若林 功

(10人)

7 従業員

今期末における従業員数は、26人です。

令和5年6月

公益財団法人 メトロ文化財団

令和4年度

附属明細書（事業報告関係）

（令和4年4月1日～令和5年3月31日まで）

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

記載事項はありません。

以上